

国会通信

茨城選出の議員

シリアの化学兵器  
使用の根拠を追及

民進・藤田氏

民進党の藤田幸久氏(参院茨城)は13日、参院外交防衛委員会で質問に立ち、化学兵器を使ったとして米国がシリアをミサイル攻撃したことに関連し、「化学兵器の拡散と使用を許さない米政府の決意を支持した」とする安倍晋三首相に対し、トランプ大統領から

どのような使用の根拠が示されたかを追及した。

藤田氏は、2013年に当時のオバマ大統領がシリアのアサド政権による化学兵器使用の証拠を示したとして米国の空爆を安倍首相が支持した例を挙げ、今回も証拠が示されたかを質問。その上で「(支持表明には)証拠が必要。ないならば国民に説明はできない」と指摘した。

安倍首相は「トランプ氏との電話会談などで、今回のシリア攻撃に対する説明などは受けており、緊密なやりとりもしている。詳細は言えない」と述べるにとどめ、証拠の有無について明言を避けた。